



# ECO CITY Kagoshima なまち がごしま

環境リーディングシティを目指す鹿児島市。

環境に配慮した取り組みをしている市民や事業者、学校が増えています。

皆さんが実践するエコな取り組みのヒントをご紹介します。

## グリーンファーム体験プログラム 桜の小枝マイフォーク作り

### ◆桜の小枝がマイフォークに大変身

昨年11月に喜入一倉町にオープンしたグリーンファーム(鹿児島市観光農業公園)では、4月中旬ごろまで約1000本の桜を楽しむことができます。園内の交流体験館では、鹿児島湾(錦江湾)からの風などで折れてしまった桜の小枝を使ったフォーク作りが来園者向け体験プログラムの人気メニューの一つです。

作り方は意外と簡単。まず、のこぎりを使って太さ1cmほどの桜の小枝を約15cmの長さで切断し、6cm程度、切り出し小刀(小刀)で樹皮を剥がします。次に、樹皮を削り取った部分を、数ミリメートルの太さになるまで小刀で薄く削り取った後、のこぎりを使って先端部分に4cm程度の割れ目を入れます(①)。割れ目の数は好みで一つか二つ。割れ目部分を小刀を使って、鉛筆を削るようにきれいに加工すると、食べ物突き刺す、くし状の先端部分がほぼ出来上がり(②)。使いやすさも兼ねて、フォークの取っ手部分にあたる角を面取りし、割れ目の根本部分を中心にサンドペーパーで形を整えていくと完成です(③)。

### ◆あなただけのエコアイテム!

交流体験館で、桜の小枝マイフォーク作りなど来園者向けの体験プログラムをアドバイスしている嘱託職員の山下正人さんと濱崎久美子さんによると「初めてフォークを作る人で完成までに約40分かかります。慣れてくると約20分でできる人もいます。ふんわりと甘い香りと、使い込むほどに味わい深い艶(つや)が楽しめる桜の小枝マイフォーク作りは、来園したならぜひ

体験しておきたい、おすすめプログラムの一つですよ」とのこと。

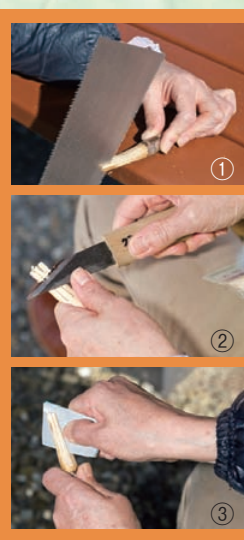
参加できる人は小学生以上で、事前予約の必要はなく、当日、気軽に体験できます。

交流体験館では、ほかにも、木の実で作るアークセサリーや、農園野菜を使ったお菓子作りなど、子どもから大人まで楽しめる多彩な体験プログラムを数多く開催。実施日や申し込みなどが必要なプログラムもあるので、参加を希望する人は、グリーンファームに問い合わせるか、ホームページなどで、事前に内容をチェックしておくのが良いそうです。

最後に、桜の小枝マイフォーク作りを一押しする理由をお聞きすると「桜の小枝といっても、枝1本1本の木目や堅さが違います。黙々と削り上げていって、偶然、面白い木目に出会えることがあるほか、意外に丈夫で長持ちするので、エコな生活を実践している皆さんにとって大切なアイテムになるはずですよ」と笑って話してくれました。

眼下に広がる錦江湾を望む絶好のロケーションのもと、約41ヘクタールの緑豊かなフィールドで「桜の小枝マイフォーク作り」にチャレンジしませんか。

### 桜の小枝マイフォークの作り方



桜の小枝マイフォークを持ってほほ笑む濱崎さん(左)と山下さん(右)

グリーンファームの所在図

